

食品と容器

FOOD & PACKAGING

2017

No. 1

Vol. 58



「手をけ弁当」六盛(京都)

KT

CONTENTS

新年のご挨拶

加藤 寛之

2

第1特集 新春誌上座談会

ハラル食品市場開拓の可能性と限界

4

ハラル食品市場 —可能性と限界および求められる日本の食品— 並河 良一

6

主要国におけるイスラム食品市場と輸出上の課題 村上 雄哉

12

ハラル食品市場開発の世界戦略の概要と難しさ 兼松 章

19

食肉のハラル認証・市場開発の難しさ 村上 進

28

日本のハラル認証表示に対するイスラム教徒消費者の評価
—マレーシアのイスラム教徒消費者を対象とした事例—

寺野 梨香・ザイナルアビディンモハマッド

35

第2特集 海外事情

フランドルの静かな風景 高木麻紀子

42

ビナグルマン (Vina-Gourmand) なお店の数々 西村 太一

48

ケルンでの1年間の滞在 —ドイツの食文化に触れて— 松尾 順一

55

ブラジルの食文化 石原 桂

62

最近の技術雑誌から

69

言葉と味わう
季節の
食べ物

(第一話)

鍋物の言葉

早川 文代

73

新春誌上座談会

ハラール食品市場開拓の可能性と限界

- ハラール食品市場 ―可能性と限界および求められる日本の食品―
.....並 河 良 一
- 主要国におけるイスラム食品市場と輸出上の課題.....村 上 雄 哉
- ハラール食品市場開発の世界戦略の概要と難しさ.....兼 松 章
- 食肉のハラール認証・市場開発の難しさ.....村 上 進
- 日本のハラール認証表示に対するイスラム教徒消費者の評価
―マレーシアのイスラム教徒消費者を対象とした事例―
.....寺 野 梨 香・ザイナルアビディンモハマッド

◆ 海 ◆ 外 ◆ 事 ◆ 情 ◆

- 「フランドルの静かな風景」.....高 木 麻紀子
- ビナグルマン (Vina-Gourmand) なお店の数々.....西 村 太 一
- ケルンでの1年間の滞在 ―ドイツの食文化に触れて― ...松 尾 順 一
- ブラジルの食文化.....石 原 桂

■ ハラル食品市場開拓の可能性と限界 ■

世界のイスラム教徒の人口は、2010年に16.2億人であったが、2030年までには21.9億人になると予測されている。このため、日本の食品企業は、国内の市場規模の拡大に期待できないため、急速な経済成長を背景に、食品規模が拡大しているイスラム諸国に熱い視線を注いでいる。また日本国内でもイスラム圏からの旅行者の増加や東京オリンピックもあり、ハラル (Halal) 食品のブームを煽る動きも活発である。

しかし、ハラルに関する一般的な知識は、イスラム教義に従い、豚成分やアルコールなどの宗教的に不純な食材を含まない、という程度である。またイスラム諸国は国によって制度が異なり、イスラム市場に進出する日本の食品企業にとってハードルが高くなっている。

本年度は、「ハラル食品市場開拓の可能性と限界」をメインテーマに、帝京大学大学院教授の並河良一氏にコーディネーターになっていただき、『ハラル食品市場—可能性と限界および求められる日本の食品—』について、日本貿易振興機構 (JETRO) の村上雄哉氏に『主要国におけるイスラム食品市場と輸出上の課題』について、味の素株式会社の兼松章氏に『ハラル食品市場開発の世界戦略の概要と難しさ』について、全国開拓農業協同組合連合会の村上進氏に『食肉のハラル認証・市場開発の難しさ』について、マレーシアプトラ大学の寺野梨香氏とザイナルアビディンモハマッド氏に『日本のハラル認証表示に対するイスラム教徒消費者の評価—マレーシアのイスラム教徒消費者を対象とした事例—』について、専門家の方々に詳しく解説願った。

ハラル食品市場 —可能性と限界および求められる日本の食品—



帝京大学 大学院経済学研究科 教授
並河良一 (なみかわ りょういち)

京都大学大学院農学研究科食品工学専攻終了。通商産業省入省、京都府商工部工業課長、JETRO ジャカルタ、同オーストラリア・パース事務所長、名古屋大学大学院経済学研究科教授、中京大学大学院経済学研究科教授などを経て現職。

専門は、産業政策、国際市場開発、エネルギー経済学。

著書は、ハラル認証実務プロセスと業界展望 (シーエムシー出版)、資源エネルギー政策をめぐる日豪関係 (日本経済評論社)、改訂版・ハラル食品マーケットの手引き (増補・改訂版) (日本食糧新聞社) など。

農学博士

主要国におけるイスラム食品市場と輸出上の課題



日本貿易振興機構 (JETRO) 農林水産・食品課 調査班
村上雄哉 (むらかみ ゆうや)

2013年日本貿易振興機構に入構、農林水産・食品部に勤務。2015年より、現職にてハラル調査をはじめ、日本の農林水産物・食品の海外輸出に向けた各国制度・マーケット等の調査を担当。

ハラル食品市場開発の世界戦略の概要と難しさ



味の素株式会社 品質保証部 マネージャー
兼松 章 (かねまつ あきら)
東京理科大学薬学部薬化学科卒業，同大薬学部修士課程修了。味の素株式会社入社，中央研究所を経て，現在，品質保証部マネージャー。
2007年7月より宗教対応（イスラム教），インドネシア（MUI），日本（JMA）の社内窓口を担当する。

食肉のハラル認証・市場開発の難しさ



全国開拓農業協同組合連合会 代表理事専務
村上 進 (むらかみ すずむ)
東京農業大学農学部農芸化学科卒業。全国開拓農業協同組合連合会入会，食肉事業部長，事業推進部長などを経て，現在，代表理事専務。(株)全日本農協畜産公社代表取締役社長，ゼンカイミート(株)取締役，(株)北海道チクレンミート取締役を兼務。

日本のハラル認証表示に対するイスラム教徒消費者の評価 —マレーシアのイスラム教徒消費者を対象とした事例—



マレーシアアプトラ大学農学部アグリビジネス・資源経済学科上級講師
寺野梨香 (てらの りか)
東京農業大学農学研究科博士課程修了。博士課程在学中より日本財団 API フェローとして1年間，終了後はマレーシア政府国費留学研究員として2年間マレーシアアプトラ大学農学部にて在籍し，現在，アグリビジネス・資源経済学科上級講師，ハラル製品研究所研究員。



マレーシアアプトラ大学農学部アグリビジネス・資源経済学科教授
ザイナルアビディンモハマッド
オクラホマ州立大学博士課程修了。1986年より現在までマレーシアアプトラ大学農学部にて教鞭を取る。